

会 議 録

（ 7 - 1 ）

会議の名称		令和 7 年度第 2 回春日部市行政改革審議会	
開催日時		開 会	午前・午後 10 時 00 分
		閉 会	午前・午後 11 時 00 分
開催場所		春日部市役所第二庁舎 5 階 会議室 5 A	
議長(委員長等)氏名		野崎彰	
出席者	委員氏名	(出席人数：9 人) 野崎彰、宣賢奎、大谷尊之、臼井俊英、海老原光男、竹村光生、大藤やすえ、竹内美紀、山本孝枝	
	説明者 その他		
	事務局	(出席人数：6 人) 総合政策部長 川村明 総合政策部次長 渡邊賢秀 行政デジタル改革課長 中崎昌徳 行政デジタル改革課行政デジタル改革担当主幹 新谷弘樹 行政デジタル改革課行政デジタル改革担当主査 遠藤祐太郎 行政デジタル改革課行政デジタル改革担当主任 池田真紀	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1 開 会（公開） 2 会長挨拶（公開） 3 委員の交代について（公開） 4 議 事（公開） （1）第 4 次春日部市行政改革大綱に基づく取組内容の進捗状況（令和 6 年度）（案）について （2）第 4 次春日部市行政改革大綱における「外部評価」の実施について 5 閉 会（公開）	
一部公開・非公開の場合はその理由		□ 要綱第 3 条第 1 号該当： □ 要綱第 3 条第 2 号該当： □ 要綱第 3 条第 3 号該当： □ 要綱第 3 条第 4 号該当：	

配 布 資 料	次 第 【資料 1】第 4 次春日部市行政改革大綱に基づく取組内容の進捗状況（令和 6 年度）（案） 【資料 2】第 4 次春日部市行政改革大綱における「外部評価」の実施について 【資料 3】令和 6 年度行政評価外部評価結果報告書 【参考資料 1】第 4 次大綱進捗管理スケジュール 【参考資料 2】第 4 次春日部市行政改革大綱 外部評価対象希望取組回答票
会議録の作成方法	■ 録音テープ等を使用した要点記録
会議録署名の指定	会長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	【開会】 【会長挨拶】 【委員の交代】 【議事】 (1)第4次春日部市行政改革大綱に基づく取組内容の進捗状況(令和6年度)(案)について 事務局 ≪資料1 1～10ページに基づき説明≫ 議 長 只今の説明について、ご意見はありませんか。 委 員 取組7「行政文書のペーパーレス化の促進」について、削減効果額22万3千円とは、文書処理の電子化によって削減された用紙代のみ計上したものです。または、事務処理の効率化による人件費の削減も含まれていますか。 事務局 実際に削減された用紙代のみを計上しています。 委 員 取組4「公用車の効率的な運用」について、部署によって走行距離が異なると思いますが、どの程度異なりますか。また、公用車の入れ替えは新車のみであり、中古車は導入していないのですか。 事務局 部署ごとの走行距離について、現在資料がないため担当課に確認いたします。また、公用車の入れ替えは全て新車となっております。 委 員 中古車の方が財政支出を軽減できる可能性があるので、検討しても良いと思います。 事務局 中古車ではありませんが、現在、専属公用車も持たない部署に、カーシェアリング制度を導入しております。今後もカーシェアリング制度等を活用しながら、検討していきたいと考えております。 委 員 カーシェアリングの利用料金と中古車の維持費を比較し、費用対効果を検討しても良いのではないのでしょうか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	検討いたします。
委 員	取組 1「自主財源の確保」における企業版ふるさと納税について、企業を直接訪問し寄附をお願いしたということですか。
事務局	そのとおりです。市にゆかりのある企業に直接足を運び、寄附をお願いしたものです。
委 員	具体的にいくらの寄附があったのですか。
事務局	21 社から、総額 34,800 千円の寄附をいただいております。
議 長	続いて、説明をお願いします。
事務局	《資料 1 11～18 ページに基づき説明》
議 長	ただ今の説明について、ご意見はありませんか。
委 員	取組 10「市税等の多様な納付方法の推進」について、口座振替を行った場合にインセンティブを付与することは可能でしょうか。民間では、早割やキャッシュレス決済で数%オフ等があります。市においても、1 年間分のゴミ袋を配布するなど、納税者が恩恵を得られるものがあれば、キャッシュレス納付の促進が図られると考えます。市として行うことが難しいのであれば、自治会等の協力を得て行えば良いと思います。
事務局	インセンティブの付与が可能であるか関係課と検討いたします。
委 員	各取組の達成率を見ると、デジタル化に関する取組について、100%を大きく上回っていると見受けられます。社会情勢の変化により、一層促進されている影響があると思いますが、これらの取組について、目標値を見直す必要があると感じます。 また、取組 8「行政手続のオンライン化の促進」について、市で行う手続がいくつあるのか把握し、現在何%の手続がオンライン化できているのか示した方がイメージを持ちやすいと感じます。また、件数ではなくパーセンテージで見えた方が、目標値が妥当であるかも見えてくると感じます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	まず、大きく目標を超えている取組に関しましては、今年度が行政改革大綱の中間年となることから、目標値の見直し等を検討し、次の審議会に諮ってまいりたいと考えております。 また、取組 8「行政手続のオンライン化の促進」に関しましては、オンライン申請件数は把握しているため、どのくらい利用されているか把握することは可能ですが、市で行う手続きの総数については把握しておりません。今後、件数ではなく、パーセンテージを指標とするかについて検討してまいります。
委 員	取組 10「市税等の多様な納付方法の推進」について、クレジットカードやスマホ決済には手数料がかかるため、財政効果額としてはマイナスになると思います。財政効果額として記載することを検討しても良いと思います。
事務局	検討いたします。
委 員	先ほどあった意見と同じく、目標値を大きく上回っている取組については、目標値の見直しを行う必要があると思います。 また、以前は実績値の推移のグラフに、越谷市など近隣の同規模自治体の数値を掲載していたと思います。このように近隣同規模の自治体データと比較できると、客観的根拠として示せるため、同じ取組ではなくても、類似する取組など比較できるデータも一緒に掲載してもらえるとありがたいです。
事務局	中間年の見直しの際に、近隣同規模の自治体データの掲載についても検討いたします。
委 員	取組 13「スマートな業務」について、実績・成果に音声議事録作成システムの利用件数をあげていますが、この他にもデジタル新技術の活用は多くあると思います。例えば、生成 AI を活用した業務効率化も考えられますが、春日部市は生成 AI の活用は行っていないのでしょうか。
事務局	生成 AI については、今年度ガイドラインを策定し、無償版の活用を始めたところです。活用の効果については可視化できていない状況ではありますが、今後、効果について様々な方法で検証していきたいと考えております。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	今回、取組 13 の実績・成果については、音声議事録作成システムの件数のみですが、システムの利用が定着し、目標値を大きく上回る達成率となっています。この点につきましても、指標の見直しを検討してまいります。
議 長	議事（１）については、審議会として承認することによろしいですか。
委 員	《異議なし》
事務局	（２）第４次春日部市行政改革大綱における「外部評価」の実施について 《資料２に基づき説明》
議 長	只今の説明について、ご意見はありませんか。
委 員	《意見なし》
議 長	では、議事（２）について、承認することによろしいですか。
委 員	《異議なし》
議 長	それでは、外部評価を希望する取組について、２取組に丸をご記入いただいて、希望が多い取組２つを、外部評価を行う取組として、選定したいと思います。記入が終わった方の回答票を、事務局が回収し集計をお願いします。
議 長	それでは、集計結果を申し上げます。 No. 1 「自主財源の確保」 ３票 No. 2 「市税収納率の向上」 ０票 No. 3 「適切かつ効果的な補助金の支出」 １票 No. 4 「公用車の適切な運用」 ０票 No. 5 「エネルギー使用量の抑制」 ０票 No. 6 「公共施設マネジメントの推進」 ３票 No. 7 「行政文書のペーパーレス化の推進」 ０票 No. 8 「行政手続のオンライン化」 ２票

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	No.9 「マイナンバーカードの活用」 1 票 No.10 「市税等の多様な納付方法の推進」 3 票 No.11 「事務改善の活性化」 0 票 No.12 「内部会議の見直し」 1 票 No.13 「デジタル新技術の活用による業務効率化」 3 票 No.14 「民間活力の導入による効果的な施設管理の実施」 1 票 No.15 「ワーク・ライフ・バランスの実現」 0 票 同数の取組があったため、同数となった取組に絞って、再度、多数決を行います。 No.1 「自主財源の確保」、No.6 「公共施設マネジメントの推進」、No.10 「市税等の多様な納付方法の推進」、No.13 「デジタル新技術の活用による業務効率化」について、外部評価を希望する取組 1 取組に丸をご記入いただき、記入が終わった方の回答票を、事務局が回収し集計をお願いします。
議 長	それでは、集計結果を申し上げます。 No.1 「自主財源の確保」 1 票 No.6 「公共施設マネジメントの推進」 2 票 No.10 「市税等の多様な納付方法の推進」 3 票 No.13 「デジタル新技術の活用による業務効率化」 3 票
議 長	以上により、次回の審議会において外部評価を実施する取り組みは、 No.10 「市税等の多様な納付方法の推進」 及び No.13 「デジタル新技術の活用による業務効率化」 でよろしいでしょうか。
委 員	《異議なし》
議 長	それではこの取組を、第 3 回審議会において外部評価を実施することといたします。事務局は今後委員の皆様からの要請がございましたら、追加資料などの用意をお願いいたします。 【閉会】
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 7 年 8 月 2 6 日 署名者の職・氏名 春日部市行政改革審議会 会長 野崎彰（原本は自署）	